

令和5年12月13日
(独)家畜改良センター
鳥 取 牧 場

SDGs に資する肉用繁殖雌牛の飼養管理技術講習会 を開催しました

12月13日、(独)家畜改良センター鳥取牧場(以下、「鳥取牧場」。)において、中国四国地域の畜産関係者を対象に、SDGs に資する肉用繁殖雌牛の飼養管理技術講習会を開催しました。畜産技術の普及、研究又は行政の担当だけではなく、農業大学校生を含め、14名の参加がありました。

研修会においては、静岡県立農林環境専門職大学の渡邊貴之准教授より、「肉用繁殖雌牛における代謝プロファイルテスト診断方法」について御講演いただき、黒毛和種における代謝プロファイルテストの意義、各検査項目の特性についてご説明いただきました。また、実際の検査結果からその牛群における問題点を推測する演習問題を用意し、講習会参加者がそれぞれ代謝プロファイルテストを診断する経験を積むことが出来ました。

さらに、鳥取牧場が取り組んでいる ICT 機器を用いた飼養管理技術について、業務課繁殖技術係長の伊達衆が発表しました。ファームノートカラーの発情検知や牛温恵の段取り通知などの的中率のデータや、実際に3年間使った後の職員からの聞き取り調査の結果から、ICT機器の有用性を伝えることが出来ました。

本研修を通じて、肉用繁殖雌牛における代謝プロファイルテスト及びICT機器を用いた飼養管理の理解醸成及び利用拡大につながり、中国四国地域での畜産経営の持続可能な発展につながることを期待します。



講習会風景